

PowerChute Business Edition機能差分表

PCBE9.1.1 :PowerChute Business Edition Basic v9.1.1
 PCBE9.2.1 :PowerChute Business Edition Basic v9.2.1
 PCBE10.0 :PowerChute Business Edition v10.0

機能	PCBE9.1.1	PCBE9.2.1	PCBE10.0	備考	
PCBEサーバ、PCBEコンソール全体機能	○	○	×	PCBE10.0から、PCBEサーバ、PCBEコンソールがなくなった。	
UPSsleep機能	○	○	○	PCBE:標準で含まれている。	
スケジュール機能	スケジュールシャットダウン機能	○	○	○	PCBE9.1.1、9.2.1(LCDパネルなしSmart-UPS):コンソール(デバイスのプロパティ)からのみ設定可能。 PCBE9.1.1、9.2.1(LCDパネル付きSmart-UPS)の場合、デバイスのプロパティとWebUIは同じ画面。 PCBE10.0:PCBEコンソールがなくなったため、WebUIからのみ設定可能。
	セルフテストスケジュール機能	△	△	△	WebUIからは、UPSの持っているセルフテストの値(起動時、7日ごと、14日ごと、しない等)を選択可能であるが、任意のスケジュール設定によるセルフテストの実行は不可。 注)UPSがONになったときに実行されるセルフテストは、サーバが再起動のためログには記録されない。
	最大UPSスリープ時間	○	○	○	LCDパネルなしSmart-UPS:14日23時間54分 LCDパネル付きSmart-UPSの場合は:14日
	スレーブサーバの独自スケジュール設定	△	△	×	PCBE9.1.1、9.2.1:スレーブサーバのスケジュール起動はマスタサーバに連動するが、独自のスケジュールシャットダウンは設定可能。 PCBE10.0:スレーブサーバのスケジュール起動もスケジュールシャットダウンも完全にマスタサーバに連動する。
	コンセントグループごとのスケジュール設定	○	○	○	[PCBE9.1.1から追加された機能]
表示機能	UPS入力電圧の表示	○	○	○	
	UPS出力電圧の表示	○	○	○	
	バッテリー容量の表示	○	○	○	
	バックアップ時間(ランタイム残量)の表示	○	○	○	
	UPS内部温度の表示	○	○	○	
	UPS出力周波数の表示	○	○	○	
	バッテリー電圧の表示	○	○	○	
	UPS負荷の表示	○	○	○	
	バッテリー切り替え値(下限)の表示	○	○	○	
	バッテリー切り替え値(上限)の表示	○	○	○	
	ホスト名の表示	○	○	○	
	UPS状態の表示	○	○	○	
	UPSモデル名の表示	○	○	○	
	UPSファームウェアバージョンの表示	○	○	○	
	UPSシリアル番号の表示	○	○	○	
	UPS製造日の表示	○	○	○	
	ステータスに応じた対処方法を表示	○	○	×	PCBEコンソール上に電源およびUPSに関するステータスを詳しく表示すると共に、推奨する対処方法も合わせて表示することができる。 PCBE10.0よりPCBEコンソールがなくなったため、本項目は非対応。
	UPSに接続されたサーバのIPアドレスの表示	○	○	○	UPSに接続されたサーバ(PCBEエージェントがインストールされたサーバ)のIPアドレスの表示が可能。
	エネルギー管理の表示	○	○	○	UPSのエネルギー使用量(消費電力/CO2排出量/電気料金)の概算値を表示可能。
	各種設定機能	UPSオフ待機時間(OSシャットダウン期間/OSのシャットダウンに必要な時間/OSがシャットダウンする時間)の設定	○	○	○
ローバッテリー信号時間の設定		○	○	○	WebUIからのみ設定可能。 PCBE9.1.1以後(LCDパネル付きSmart-UPS):ランタイム制限で「項目名変更」。
UPSパラメータ:通信ポート(UPS通信:ポート)の変更		○	○	×	(注)LCDパネル付きSmart-UPSの場合は不可。 PCBE10.0以後:変更にはPCBEの再インストールする必要がある。
シグナリングタイプの変更(スマートシグナリング、シンプルシグナリング)		○	○	×	PCBE9.1.1では、USB インタフェースはLCDパネル付き Smart-UPSを使用した環境において、Windows Server 2019 / Windows Server 2016 / Windows Server 2012 R2 / Windows Server 2012 / Windows 8.1 でのみ使用できます。但し、シリアル <-> USB を変更するためにはPCBEエージェントの再インストールが必要。 PCBE9.1.1、9.2.1:シグナリングタイプの変更可能。 ※但し、LCDパネル付きSmart-UPSの場合は不可。
USB接続		○	○	○	USB接続はLCDパネル付き Smart-UPSのみサポートされる。 PCBE9.1.1、9.2.1では、Windows Server 2019 / Windows Server 2016 / Windows Server 2012 R2 / Windows Server 2012 / Windows 8.1 でのみ使用可能。 PCBE10.0では、上記のWindows環境以外に、Linux環境でも使用も可能。
自動リブート(UPS再起動)の設定		○	○	○	
バッテリー切り替え値(下限)の設定		○	○	○	
バッテリー切り替え値(上限)の設定		○	○	○	
UPS 電圧感度の設定		○	○	○	
UPSオン(再起動)待機容量の設定		○	○	○	(注)LCDパネル付きSmart-UPSの場合、容量の設定は不可、バックアップ時間による設定が可能。
UPSオン(再起動)待機時間の設定		○	○	○	
UPS 警告音の設定		○	○	○	
イベント発生後、シャットダウンシーケンス開始までの待機時間の設定		○	○	○	PCBE9.1.1(LCDパネルなしSmart-UPS):シャットダウンシーケンスの設定にて設定可能。 PCBE9.1.1以後(LCDパネル付きSmart-UPS):シャットダウンの設定にて設定可能。
バッテリー交換日設定		○	○	○	
イベント通知機能		イベント通知を無効にする	○	○	○
	ポケベルへのイベント通知機能	○	○	×	E-Mail受信可能なポケベルであれば、E-Mailを送信可能。
	イベントアクション通知先の設定	○	○	○	
	イベントの繰り返し通知	×	×	×	PCBE9.1.1以後は不可。
	E-Mailへのイベント通知機能	○	○	○	PCBE9.1.1、9.2.1では、PCBEサーバとPCBEエージェント両方より通知可能。 PCBE10.0では、PCBEサーバがなくなったため、PCBEエージェントからのみ通知可能。
	E-Mailまたはブロードキャスト通知テスト機能	○	○	×	E-Mailまたはブロードキャスト通知のテストを行うことができる。 PCBE10.0:本機能はPCBEサーバにあるため、PCBE10.0には本機能なし。
	E-Mail通知の認証機能	○	○	○	ベーシック認証(ユーザ名、パスワードによる認証)が可能。
UPS診断機能	E-Mail送信の際のSMTPポート番号を変更できる機能	×	○	○	[PCBE9.2.1から追加された機能]
	E-Mail送信の際のSSL/TLSプロトコルを選択できる機能	○	○	○	
コマンド実行機能	セルフテストの実行	○	○	○	
	ランタイム校正の実行	○	○	○	
	アラームテストの実行	○	○	○	
すぐにサーバをシャットダウン	イベントアクション毎に、コマンドファイル実行	○	○	○	WebUIからのみ設定可能。
	コマンドファイルテスト機能	○	○	○	
電圧イベント/電圧分析	サーバをシャットダウン後、UPSからの電源供給停止	○	○	○	
	サーバをシャットダウン後、自動再起動	○	○	○	
電圧イベント/電圧分析	電源イベントをグラフにする機能	○	○	×	システムに一定期間内(1日間、7日間、30日間、または1年間)に次の電源関連のイベントが何回発生したかを示すグラフを表示することができる。 ・電源障害 ・ローバッテリー状態 ・長時間過電圧状態 ・過電圧状態発生 ・長時間低電圧状態 ・低電圧状態発生 ※機能名称:「電源イベントサマリ」 PCBE10.0:PCBEコンソールがなくなったため、本機能はない。
	電圧履歴をグラフにする機能	○	○	×	PCBE起動後、一定期間内(30分間、1時間、6時間、12時間、1日間の)UPS入力電圧データをグラフ表示することができる。 PCBE10.0:PCBEコンソールがなくなったため、本機能はない。

SNMP通信機能	SNMP Agentとしての機能	○	○	○	PowerNet ManagerやHP OpenViewなどのSNMPサービスからシステムデバイス(UPS装置)へのアクセスができる。 PCBE9.1.1、9.2.1ではOSのSNMPサービスを使用する。Windowsのみ、Linuxは不可。 PCBE10.0ではPCBE独自のSNMPサービスを使用する。Windows、Linux対応。
	SNMPトラップの種類	○	○	○	PCBE9.1.1、9.2.1では ・情報 ・注意 ・警戒 ・重要警戒 ・危険 PCBE10.0では ・UPS重大イベント ・通信消失イベント
	SNMP v3対応	×	×	○	[PCBE10.0から追加された機能]
WEBブラウザ	WEBブラウザ経由でアクセス可能	○	○	○	専用GUIのみでなく、WEBブラウザからPCBEエージェントへアクセスすることができる。 但し、PCBE9.1.1、9.2.1では、Windows:Internet Explorerのみサポート。 PCBE10.0では、下記ブラウザをサポートする。 ・Microsoft Internet Explorer バージョン11 ・Mozilla Firefox バージョン52+ ・Google Chrome バージョン62+ ・Microsoft Edge
シャットダウンタイプ	シャットダウンタイプの選択が可能	○	○	×	シャットダウン方法として、以下の選択が可能。 ーシャットダウン ーシャットダウンと電源オフ ー休止する 但し、Linuxでは、シャットダウンのみ。 PCBE9.1.1、9.2.1では、シャットダウンタイプ「休止する」は未サポート。 PCBE10.0:本機能はない。
アプリケーションシャットダウン	アプリケーションシャットダウン機能	△	△	×	コマンド、IIS、SQL、Exchange、Lotus Notesアプリケーションシャットダウン機能。 PCBE9.1.1、9.2.1:POBEコンソールより設定する。但し、コマンドのみ設定可能。提供されている実行ファイルはなし。 PCBE10.0:コンソールがなくなったため、本機能はない
リスクアセスメント	リスクアセスメント機能	○	○	○	
サイレントインストール	サイレントインストール機能	△	△	○	PCBE9.1.1、9.2.1:Linux版エージェントのみ可能。 但し、PCBE9.1.1、9.2.1では、「install_pbagent_linux.sh」にてインストールする場合は不可。 PCBE10.0:Window版、Linux版エージェント可能。
POBEエージェントの自動検出	POBEエージェントを登録する際に自動検出する。	○	○	×	PCBE10.0:POBEサーバがなくなったため、本機能はない。
LCDパネル付きSmart-UPS対応	LCDパネル付きSmart-UPS対応	○	○	○	LCDパネル付きSmart-UPSに対応。
仮想化環境対応	仮想化環境対応	○	○	○	[PCBE9.1.1から対応] ※動作環境については、下記サイトをご確認ください。 http://jpn.nec.com/esmprom/um/ →動作環境 → 対応OS一覧 → PowerChute Business Edition
ログ取得機能	自動にPCBEのログを収取できる機能	×	×	○	[PCBE10.0から追加された機能]